油絵 専攻

設置クラス	本　　科 高卒生	月曜～金曜	9：30~16：30	
	専　　科 高3生・高卒生	火曜～金曜	17：30~20：30	日曜　9：30~18：00
	高 2 専 科 高2生	火曜～金曜	17：30~20：30	日曜　9：30~18：00
	日 曜 専 科 高3生・高卒生（遠方から通塾）	日曜	9：30~18：00	
	高２日曜専科 高2生	日曜	9：30~18：00	

ここが作家の礎（いしずえ）。

油絵専攻は、これまでにアーティストはもちろん、イラストレーター、デザイナー、漫画家、陶芸家など、さまざまな分野の作家を輩出してきました。絵画を描き、学ぶことは、世界の見方の幅や奥行きを知るスタート地点です。講師との、自分との、仲間との、そして絵との対話。アトリエでの対話はすべて作家の礎になります。指導講師は、自身もそのように学び思考し実践してきた経験を生かし、君たちの作家としてのスタートを全力でバックアップします。

指導スタッフ

一人ひとり。人と絵との対話を指導の入口とし、合格という出口と出発点をめざし、
実技指導はもちろん人生相談まで幅広く。いろんなタイプの先生達です。

●レギュラー講師

池 奈千江　愛知芸大大学院油画修
片岡 美保香　愛知芸大油画卒
小谷 浩士　愛知芸大大学院油画修
大勝 純一　東京藝大大学院油画修
田島 秀彦　愛知芸大大学院油画修
宮坂 恵子　愛知芸大大学院博士課程修

●招待講師

田中 佐那　愛知芸大油画在籍
中条 友也　愛知芸大油画卒
福岡 由那　愛知芸大大学院油画在籍
松岡 信乃介　愛知芸大油画在籍

●チューター

岩田 清志郎　愛知芸大油画在籍
黒田 美南　愛知芸大大学院油画在籍
土屋 朱織　愛知芸大油画在籍

（2024年12月現在・50音順）

年間カリキュラム	本科	専科・日曜専科	高２専科・高２日曜専科
	春期講習		
1学期 ●入塾ガイダンス ●第１回全統共通テスト模試 ●全体保護者会（動画配信） ●入試説明会	**［絵画、素描・油彩Ⅰ］** **～基礎造形力強化～** ●素描、油彩基礎課題（石膏、静物、人物、想定） ●東京藝大クラス、東京愛知併願クラス、愛知芸大クラス、金沢美大クラス志望校別授業	**［絵画、素描・油彩Ⅰ］** **～基礎造形力強化～** ●素描、油彩導入課題 ●東京藝大クラス、東京愛知併願クラス、愛知芸大クラス、金沢美大クラス志望校別授業 ●素描・油彩基礎課題（石膏、静物、人物、想定）	**［絵画基礎Ⅰ］** **～基礎実技力育成～** ●素描、油彩導入課題（用具の使い方、描き方、絵の見方） ●専科・日曜専科各クラスとの合同課題 ●素描、油彩（石膏、人物、静物、想定）
●第２回全統共通テスト模試	**夏期講習**		
2学期 ●保護者会（三者面談） ●塾生作品展 ●大学入学共通テスト出願 ●愛知芸大公開実技模試 ●第３回全統共通テスト模試 ●全統プレ共通テスト	**［絵画、素描・油彩Ⅱ］** **～絵画表現力の強化～** ●東京、東京愛知併願、愛知、金沢各クラス別授業 ●素描、油彩基礎強化課題 ●素描、油彩表現力強化課題（石膏、静物、人物、風景、想定課題、ドローイング課題など） ●新宿校合同コンクール	**［絵画、素描・油彩Ⅱ］** **～絵画表現力の強化～** ●東京、東京愛知併願、愛知、金沢各クラス別授業 ●素描、油彩基礎強化課題 ●素描、油彩表現力強化課題（石膏、静物、人物、風景、想定課題など）	**［絵画基礎Ⅱ］** **～基礎造形力・絵画表現力育成～** ●専科・日曜専科各クラスとの選択課題 ●素描、油彩（石膏、人物、静物、想定課題など）
	冬期講習		
3学期 ●大学入学共通テスト ●修了会	**［志望校別対策］** **～対応力を身につけ、完成度を高める～** 入試に向けて、それぞれの志望大学に応じた課題の対策を行います。入試本番を間近に控え実践力を強化します。		**［絵画表現基礎Ⅱ］** **～絵画表現力育成～** ●基礎造形力の確認と表現への試み
	直前講習		

塾生作品展制作

９月中旬に行われる塾生作品展へ向けての自由制作の様子です。2024年度のテーマは「×（かける）」。

自画像コンクール

１学期には、本科生を対象とした自画像コンクールがあります。作品講評後には、表彰式もあります。

石膏デッサン

石膏像は、主要な国公立大学での出題頻度の高いモチーフです。観察力と精度の高い表現力が必要です。

静物油彩

対象物をしっかりと観察しながら絵具をキャンバスにのせること、それが油彩制作の基本です。

人物クロッキー

クロッキー（早描き）は絵を描くことのスキルアップに最適です。観察する目と描く手を正確に連動させる訓練です。

愛知芸大公開実技模試

２学期中旬に行われる愛知芸大模試。近年の出題傾向と採点基準に則したシミュレーションが体験できます。

油絵　本科　東京藝大クラス

本科・東京藝大クラスは、東京藝術大学を第一志望に考える高卒生対象のクラスです。毎年、変化する入試出題に必要な臨機応変な対応力と絵画表現を豊かにイメージする力を大切にし、描く力はもちろん、作品に奥行きを与える考える力を最大限に引き上げます。学生一人ひとりの制作経験や資質を生かした指導と、次の絵につながる丁寧な講評を通して合格へと導きます。

- 1学期は、石膏像や静物モチーフ、人物モデルなど基本的な課題制作を中心に素描、油彩の基礎造形力と描写力向上をめざします。6月中旬から第一志望によるクラス別の授業が始まります。
- 2学期は、制作期間を長く取った素描・油彩課題を、個人指導と講評により長所を引き出し、自らの絵のイメージをかたちにします。
- 3学期および入試直前期は、予想される課題と入試を意識した制作により、試験日にピークを合わせ合格をめざします。

1

2

3

4

1. りんごをモチーフに「変化」という言葉をテーマに描いた作品です。りんごが齧られた結果の変化として人の顔のようなものが現れるという発想に、作者のユーモラスな人柄が出ています。不思議な変形パースとキャンバス地を生かした塗りに絵心を感じます。余計な作為のないストレートな表現です。［F20号キャンバス・油彩］
2. 地球環境についてテーマを構想して描いた油彩です。F20号キャンバスとスケッチブックを支持体として制作したもので、スケッチブックで構想したものと合わせて鑑賞すると、作者の思考がじわじわと伝わってきます。テーマの追求の深さも良いのですが、油彩としての色彩と形の造形感覚も秀逸です。［F20号キャンバス・油彩］
3. サザエの殻をモチーフに自由に描いた素描作品です。手の平に収まるサイズのものを、ブリューゲルの「バベルの塔」を思わせる壮大なスケールを感じる作品に仕上げています。このように、自分の絵の世界ではスケールや空間は自由自在なのです。迫力のある描写もこの作品内容に力を与えています。［MBM木炭紙・木炭・鉛筆］
4. 段ボールとりんごを「移動」をテーマに描きました。「段ボール箱で運ばれるりんご」は容易に想像できますが、作者はその先に発想の触手を伸ばしています。木炭紙大の画面を最大限に生かした構成も、絵に勢いを与えています。人肌や段ボールなど、モチーフの質感にも細心の注意が注がれています。［MBM木炭紙・木炭・鉛筆］

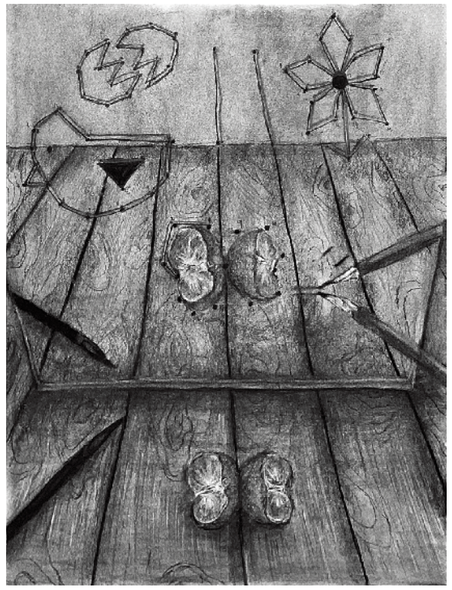
油絵　専科・日曜専科　東京藝大クラス

専科・東京藝大クラスは、東京藝術大学を第一志望とする高校3年生や、本科に通うことができない高卒生を対象にしたクラスです。初めての実技入試にも自信をもって臨めるよう、密度の高いカリキュラムを組み丁寧な指導を進めていきます。日曜専科は、遠距離などの理由で専科に通えない高3生および高卒生を対象にしています。専科同様のカリキュラムの流れで進みますので、いつでも専科にコース変更が可能です。

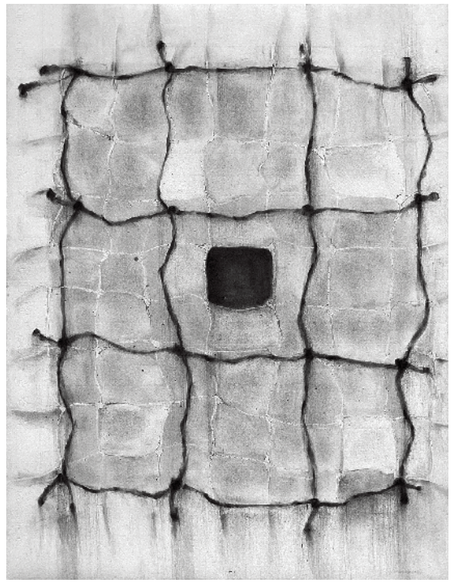
- 1学期は、石膏像や静物モチーフ、人物モデルなど基本的な課題制作を中心にデッサン、油彩の基礎力向上をめざします。各大学の入試説明を行い、6月中旬から第一志望によるクラス別の授業が始まります。
- 2学期は、近年の藝大に特徴的な素描課題や、発想と表現の関係性を探る油彩課題で各人の構想力・表現力を強化します。
- 3学期および入試直前期は、予想される課題や試験と同制作時間内で入試への対応力を上げ、合格をめざします。

1

2



3



4

1. 「自分について」をテーマに描いた油彩作品です。一見すると線や絵の具の筆運びは拙いものに見えますが、じっくり見ているとその素朴で味わい深い描きに魅了されます。人物とその背に置かれる手など不思議な物語性を感じさせるポーズや構図、下地から透けて見える色や形の造形性に、みるみる引き込まれていきます。［F20号キャンバス・油彩］
2. 「記憶」をテーマに6時間で描きました。絵具はのせて重ねてを繰り返すことで、単なる絵具が物の質感や空間に変わっていきます。短い限られた時間での制作にも関わらず、それを実現した完成度の高い作品になっています。内容はシンプルですが、作者の記憶の世界に、観る者の想像がシンクロしていきます。［F20号キャンバス・油彩］
3. 鏡とみかんを組み合わせて描く課題です。鏡の物質的な特性をうまく利用しながら構成しています。現役生らしい飾らない素直な視点と瑞々しい感性と遊び心が、観る人を楽しい気分にさせます。描写の精度はまだまだではありますが、木炭の素材感を生かした描きと美しい調子の諧調は十分な魅力を備えています。［MBM木炭紙・木炭・鉛筆］
4. 黒いネットをモチーフに、「向こう側とこちら側」という言葉をテーマに描きました。難しい内容の課題でしたが、空想画的ではない大人っぽい作画で解答できています。絵の基本原理である地と図、空間のレイヤーなど絵画言語とも言える構造をうまく利用しながら「向こう側とこちら側」というテーマに言及しています。［MBM木炭紙・木炭・鉛筆］

油絵　本科　愛知芸大クラス

本科・愛知芸大クラスは、愛知県立芸術大学を第一志望に考える高卒生対象のクラスです。愛知芸大入試に直結した課題や、素描・油彩のバランスを考えたカリキュラムと、一人ひとりの弱点の自覚を促し次の制作につながる適切なアドバイスにより、描写力や表現力を養成します。愛知芸大の入試出題傾向や合格基準、入試結果詳細を知りつくした講師スタッフが合格へと導きます。

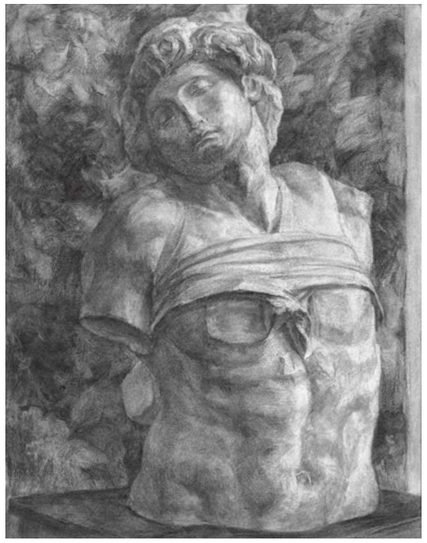
油絵　本科　東京藝大・愛知芸大併願クラス

本科・東京藝大・愛知芸大併願クラスは、東京藝術大学と愛知県立芸術大学の併願を考える高卒生対象のクラスです。東京藝大と愛知芸大の併願を視野に入れたバランスの良いカリキュラムを元に、入試に必要な表現力を養います。単に、東京藝大と愛知芸大の入試対策課題を繰り返すだけでなく、河合塾美術研究所独自のメソッドにより、東京藝大と愛知芸大を併願するコツをわかりやすく指導し、合格へと導きます。

- １学期は、石膏像や静物モチーフ、人物モデルなど基本的な課題制作を中心にデッサン、油彩の基礎造形力と描写力向上をめざします。６月中旬から第一志望によるクラス別の授業が始まります。
- ２学期は、愛知芸大実技模試をはさみ、素描、油彩を実践的に強化し、入試時期を見据えたこの時期までに必要なレベルまで力をつけます。
- ３学期および入試直前期は、予想される課題と入試を意識した制作により、試験日にピークを合わせ合格をめざします。

1. 設置された静物と自画像を組み合わせ、画面を構成する課題での作品です。傘の柄と眼鏡の輪郭を合わせることから発想し画面の構成を組み立てる中で描写を生かした表現が見事です。［F15号キャンバス・油彩］

1. 紙風船や石膏像、アクリル円筒などがさまざまな絵具の重なり、筆致、表情で魅力的に描かれています。モチーフの形だけでなく、画面上の多様な矩形が意識されている点も見所です。［F15号キャンバス・油彩］



2. 花柄布の前に置かれた石膏像を描いた作品です。動きのある像と背後の黒地に赤や白色の花柄のリズムを響き合わせながら立体感や空間感の描写を頑張って描いた作品です。［MBM木炭紙・木炭・鉛筆］

2. 光と陰の強いコントラストが目を引く作品です。皮膚、髪、服、ガラス、壁など質感の違いに応じて木炭の表情を巧みに使い分けている点にも実力の高さが感じられます。［MBM木炭紙・木炭・鉛筆］

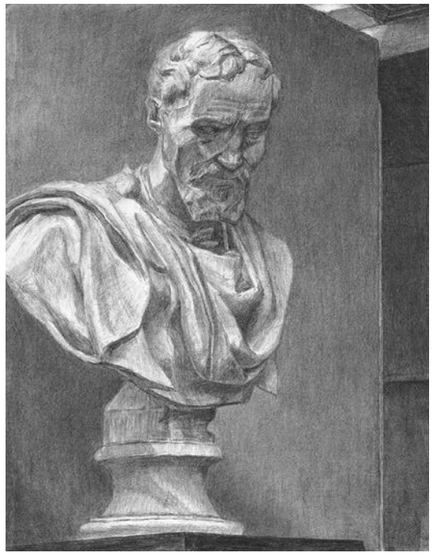
油絵　専科・日曜専科　愛知芸大クラス

専科・愛知芸大クラスは、愛知県立芸術大学を第一志望とする高校３年生や、本科に通うことができない高卒生を対象にしたクラスです。対象を見る力をしっかり養い、個々の適性や進度を踏まえた指導により合格に導きます。日曜専科は、遠距離などの理由で専科に通えない高３生および高卒生を対象にしています。専科同様のカリキュラムの流れで進みますので、いつでも専科にコース変更が可能です。

油絵　専科・日曜専科　東京藝大・愛知芸大併願クラス

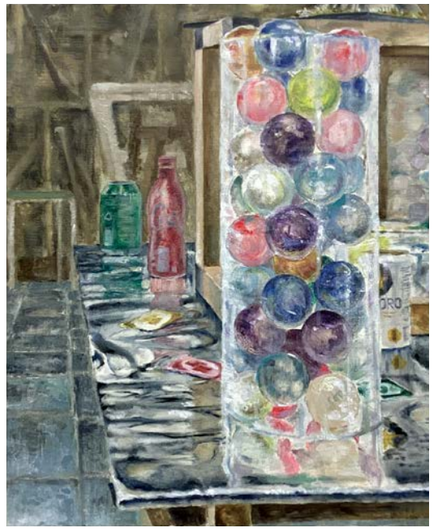
専科・東京藝大・愛知芸大併願クラスは、東京藝術大学と愛知県立芸術大学の併願を考える高校３年生や、本科に通うことができない高卒生を対象にしたクラスです。東京藝大と愛知芸大の併願を視野に入れたカリキュラムを元に必要な表現力を養います。単に、入試対策課題を繰り返すだけでなく、河合塾美術研究所独自のメソッドにより、東京藝大と愛知芸大を併願するコツをわかりやすく指導します。日曜専科は、遠距離などの理由で専科に通えない高３生および高卒生を対象にしています。

- １学期は、石膏像や静物モチーフ、人物モデルなど基本的な課題制作を中心にデッサン、油彩の基礎力向上をめざします。各大学の入試説明を行い、６月中旬から第一志望によるクラス別の授業が始まります。
- ２学期は、愛知芸大実技模試をはさみ、素描、油彩を実践的に強化し、入試時期を見据えたこの時期までの必要なレベルまで力をつけます。
- ３学期および入試直前期は、予想される課題や試験と同制作時間内で入試への対応力を上げ、合格をめざします。



1. その場の雰囲気を感じながら、背景の壁の面積やすき間の形を意識して描かれています。木炭の調子の組み立てもバランス良くできており、魅力あるデッサンに仕上がっています。［MBM木炭紙・木炭・鉛筆］

1. モチーフが複数設置されている室内の状況に反応し、距離感の異なる二体の石膏像をドラマチックに画面へ配置しています。調子のつながりや描写の密度に課題はあるものの、明度や質感の幅が広く、木炭の表情も多彩で魅力的です。［MBM木炭紙・木炭・鉛筆］



2. 夏期講習で描かれた作品です。金属シートが貼られた台上に数多くのモチーフが置かれた状態のキラキラとした光の変化をリズミカルに描きながら形、空間の関係を成立させています。［F15号キャンバス・油彩］

2. ５月頃に制作した自画像作品です。まだ技術的に拙い部分も多いですが、色彩や描写への工夫が感じられます。瑞々しい感性と、作者の自身への眼差しが伝わる一枚です。［F15号キャンバス・油彩］

油絵　本科 金沢美大・広島市立大クラス

金沢美大・広島市立大クラスは、金沢美術工芸大学・広島市立大学など、入試で石膏デッサンや人物（自画像）、静物油彩が課される大学を第一志望に考える高卒生対象のクラスです。入試で評価される観察力による描写力をつけていくために、基礎的な物の見方と、デッサンや油彩における技術的な訓練を通して高度なレベルの造形力を身につけていきます。また他大学も併願する人のための対策カリキュラムも実施していきます。

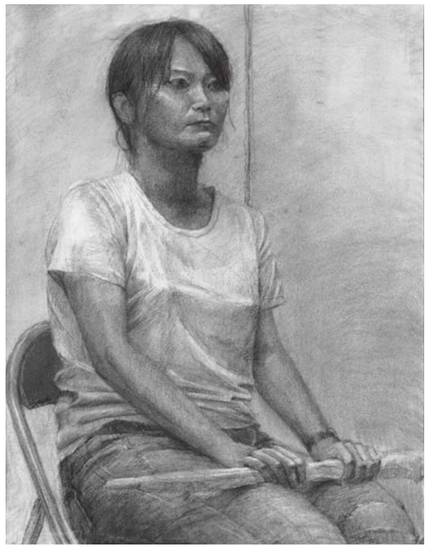
油絵　専科・日曜専科 金沢美大・広島市立大クラス

専科・金沢美大・広島市立大クラスは、金沢美術工芸大学・広島市立大学など、入試で石膏デッサンや人物（自画像）、静物油彩が課される大学を第一志望に考える高校３年生や本科に通うことができない高卒生を対象としたクラスです。入試で評価される観察力による描写力をつけていくために、基礎的な物の見方と、デッサンや油彩における技術的な訓練を通して高度なレベルの造形力を身につけていきます。日曜専科は、遠距離などの理由で専科に通えない高３生および高卒生を対象にしています。

- １学期は、石膏像や静物、人物モチーフを中心にデッサン、油彩の基礎的な物の見方や描き方を学び基礎造形力向上をめざします。
- ２学期は、高度なレベルのデッサン力をつけていきながら人物（自画像）、静物油彩を制作していきます。
- ３学期および入試直前期は、試験時間内での制作で完成度を上げ、試験へと備えていきます。

1. あまり筆跡を残さずに油絵具を重ねた表現で壁に掛けたシャツの柄まで描き上げました。特に顔は肌のしっとりとした質感までじっくりと描写し魅力的な自画像になりました。［F15号キャンバス・油彩・本科生］

2. それぞれのモチーフの形や色、質感を丁寧に描写しています。特に布は明暗に頼り過ぎないよう注意しながら混色した色味で形を描くことで画面に見応えを与えています。［F15号キャンバス・油彩・本科生］



3. 人物の形態を意識しながら髪の毛や肌、服装の固有色や質感をうまく利用して描写していくことで、独特な色幅が生まれモデルの雰囲気まで描き上げた作品になりました。［MBM木炭紙・木炭・鉛筆・本科生］

4. しつこく観察し絶えず形を探りながら描き進めることでマルスらしい印象や量感が出せています。また作者が感じた逆光の美しさは反射光を見つけながら調子の幅を増やし表現しました。［MBM木炭紙・木炭・専科生］

油絵　高２専科・高２日曜専科

高２専科および高２日曜専科は、油絵科受験を志望する高校２年生を対象にしたコースです。美術科高校に通う経験者から、これからデッサンや油絵を始める初心者まで、各人の制作経験年数や枚数に応じて丁寧に指導を進めていきます。先輩である高３生や高卒生と一緒に制作することで、技術力も含め、より高度なデッサンや油絵の勉強をすることができます。また各人の志望校を決定するための入試説明会を実施し、最新の入試情報を提供していきます。

- １学期・２学期は、高校３年生と同じアトリエで、東京藝大クラス、愛知芸大クラス、金沢美大クラスの課題を交互に制作します。各クラスでオーソドックスな描写系課題や言葉をもとにした発想系課題など、さまざまな課題を制作することができます。これにより技術はもとより柔軟な思考や表現の幅を身につけ、早期より油絵科受験の準備をすることができます。
- ３学期は志望に応じたクラスでの制作となります。

1. 東京藝大クラス課題での、目の前の二つのモチーフを組み合わせた作品です。何層も重ねた薄い透明色と不透明色で空間とモチーフが描かれています。オイルや素材の変化から作者の質と油絵具の興味関心が感じられます。［F15号キャンバス・油彩］

2. 複数のモチーフと鏡を組み合わせて描くという課題でした。全体での描き込みは不足していますが、構成の意図とモチーフとの組み立てが明確に描かれており、表情とリズムが魅力的にとらえられています。［MBM木炭紙・木炭・鉛筆］

合格者からのメッセージ

丸山 彩花さん
油絵本科
N高校出身

合格　東京藝術大学 油画専攻

河合塾にお世話になった３年間は楽しく自分のことが知れた３年間でした。自分自身を知り、私はどんなことを絵で表現したいのかを考え行動することで、絵がどんどん良くなっていった気がします。効率よく考え、手を動かし合格しましょう。

加藤 彩さん
油絵専科
豊田北高校出身

現役合格　東京藝術大学 油画専攻
名古屋造形大学 美術表現領域

油画の知識がなかったのですが、先生の指導を受けるうちに、自然と使い方が身につきました。受験直前では絵に自信を持てない中、先生が親身に相談に乗ってくださったおかげで、自信を持って描けました。自信を持つだけでも視野が広がり、この結果をもらえたと思います。

村松 桜優奈さん
油絵本科
常葉大学附属菊川高校出身

合格　愛知県立芸術大学 油画専攻
女子美術大学 洋画専攻

他の予備校と比較しても、実績も過去の入試データにおいても河合塾以外に選択肢はないと思います。ただし、漠然と美術が好きという気持ちで美大を受けても無理だと思います。本気になれる方には河合塾入塾を検討する価値は大いにあると思います。

伊藤 由希菜さん
油絵専科
桜台高校出身

現役合格　愛知県立芸術大学 油画専攻

河合塾の良さはたくさんの作品と自分の作品を講評で見比べられるところです。そうすることで自分の目を鍛えることができ、成長につながります。指導も的確でわかりやすいので、次に何を課題として作品づくりに取り組めばいいかを考えながら制作できました。

北川 夏凪さん
油絵本科
神戸高校出身

合格　金沢美術工芸大学 油画専攻

人との比較がしやすく、改善点や新しい発見ができるのは河合塾ならではのメリットだと感じました。金沢美大の受験にあたっては座学と絵の勉強の両立を意識し、偏った勉強はしないよう気をつけてください。苦しくなったら、一人で悩まず周りに話してみてください。

熊﨑 啓太さん
油絵専科
各務原西高校出身

現役合格　金沢美術工芸大学 油画専攻

石膏像の形をとるときは目を新鮮にしてから見るなど、形を慎重にとるよう工夫しました。色を見るのではなく形を見て描くという先生の言葉も意識しました。自画像は好きなものを選んで描けば、インパクトがあり、モチベーションを保って制作できると思います。